

(様式6-3)

研修等 報告書

令和4年 4月 5日

三田市議会議長 北本節代 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	日本維新の会 三田	代表者	印 小山裕久
		議員名	
参加者氏名	小山裕久		
講演会等研修名	・ あなたのまちの財政比較分析編		
研修事項	・ 財産の基礎と資料の見方～京都市の事例から学ぶ ・ 財政状況資料集 PART1		
日 時	令和4年3月29日(火)16時～30日(水)21時		
場 所	東京都千代田区有楽町1丁目12-1		
所 見	別紙に記載		
添付資料	・ あなたのまちの財政比較分析編 ・ 財政状況資料集 PART1 ・ 三田市財政状況資料集 ・ 当日の写真		

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

2022年3月30日に行われました、地方議員研究会主催
財政基礎研修「あなたのまちの財政比較分析編」「財政状況資料集 PART1」の研修に
参加しましたので、所見を述べさせていただきます。

今回の講師でもある森裕之先生は、大阪府生まれ大阪市立大学商学部、のち高知大学助手、
大阪教育大学専任講師、助教授をへて2009年より立命館大学政策科学部教授。財政学と
くに地方財政と公共事業を専攻されている、多くの著書もだされ、最近では京都市の財政問
題について多くTVでの解説で活躍もされており、今回は公共政策論としての立場から考
察されたお話をいただきました。

研修方法として参加した全議員市町の財政状況資料集（総務省発行分）が配布され、項目ご
とに、比較分析し自分の市町の問題点やこれからの課題について把握し分析して問題解決
の糸口に繋げる研修の進め方であった。三田市においてはこの財政分析資料集から将来負
担比率（市の借金の割合）が0%であり全国、類似団体で比べても素晴らしい数値であった、
これは特筆すべき所ではあったが、逆に実質公債費比率（借金の返済の比率）は6.4%
と全国、類似団体と比べると大きく上回り、借金の割合は少ないが、返済する比率も高く、
財政表的には比較的よい結果が出ているが、市民の方々に財政面では負担を多くかけてい
ることが、ここから見られた、確かに大きなニュータウンを持っており、将来の高齢化が心
配な三田市ではあるが、森裕之先生からはしっかりとした財政内容ではあるが、だからこそ
市民サービスにおいて不足する所があるのではないかと、借金は少ない方がよいけれど、よい
借金、悪い借金としっかり分け、もう少し市民の為に金を使い、市民の満足度を上げるこ
とも必要ではないかと、との意見も頂きました。が、最後にはこれは、財政面からのアドバ
イスであり、直接市民の方々に接している、議員の方々がこれからの街の運営方法を定める
のであり、しかしながら基本にはその市町が持っている財政をまずしっかり解ってから話を
することが、議員としての基礎基本であるとの話も頂いた。

今回の研修をうけ、三田市民の福祉の向上を考えながら日々活動しているが、それは市民
目線での活動と、市全体の事をも考えながら活動しなければならないと感じました、そのた
めには、大変複雑な自治体財政の勉強は欠かせないものであり、今回の研修は大変有意義な
ものでありました。また他の市町の議員の皆様と、財政についての様々な意見交換などがで
き、これからの三田市の為になる研修でもありましたのでこれを今回の所見とさせていた
だきます。

2022年4月3日 小山裕久

財政
基礎研修

Level 3

4講座申し込みの方で
先着10団体までは
当日レジュメで
取り上げます!

あなたのまちの財政比較分析編

参加自治体それぞれの
財政状況資料集を
配布いたします

3月23日(水) in博多

3月30日(水) in東京

10:00~12:30

財政の基礎と資料の見方～京都市の事例から学ぶ

- ・基礎(レベル1)と、決算カード(レベル2)の復習
- ・類似団体の一覧と財政比較の基本
- ・財政状況資料集の意義と見方のポイント
- ・京都市の事例から財政分析の必要性を再確認
～財政危機の足音はどの時点で把握できたか?

14:00~16:30

財政状況資料集Part 1

- ・財政力指数、経常収支比率、健全化判断比率を一目で比較
- ・財政が悪いととは、どのような状態か
- ・健全化判断比率をクリアしているのは当たり前
- ・人件費や職員数の比較分析を確認しよう

3月24日(木) in博多

3月31日(木) in東京

10:00~12:30

財政状況資料集Part 2

- ・参加自治体の財政分析(先着申込10団体)
- ・各指標の数値の内訳を分解してみよう
- ・財政分析分析表の活用方法をマスターしよう
- ・財政調整基金残高はどれくらいあれば良いのか?

14:00~16:30

財政状況資料集を使ってできる財政質疑のポイント

- ・コロナ対策の現状と自治体財政
- ・自治体の税収減の課題と対策
- ・財政健全化に向けた国の動きと見える化
- ・持続可能な財政のために議会から指摘を!

講師紹介

森 裕之

立命館大学政策学部教授
博士(政策科学)

経歴

1967年大阪府生まれ。大阪府立大学経済学部、早稲田大学経済学研究所修士課程中退後、香川大学助手。その後、立命館大学専任講師、大阪教育大学専任講師、助教授を経て、2009年から立命館大学政策学部助教授兼、2019年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業の財政、地方自治の財政・人事問題などについて多くの研究論文としての発表がある。

著書

『地方財政の基礎』(共著) 2017年
『地方・国庫交付金と地方自治』(共著) 2019年
『地方自治と国家財政』(共著) 2019年

論文

『地方自治体』の財政と地域経済(2018年)
『地方自治』の財政と地域経済(2017年)
『地方自治』の財政と地域経済(2016年)

